

ANAホールディングス株式会社 説明会

2025年3月期 第3四半期決算

2025年2月3日

取締役 常務執行役員
グループCFO
中堀 公博



目 次

2024年度 第3四半期決算

1. 決算概要・業績予想の修正

決算概要 (第3四半期累計)	P. 3
決算概要 (第3四半期)	P. 4
事業別のポイント	P. 5
航空事業・事業別の需要動向	P. 6
通期業績予想 (修正)	P. 7
セグメント別計画 (修正)	P. 8
航空事業 売上・費用計画 (修正)	P. 9
今後に向けて	P. 10

2. 連結決算 (詳細)

経営成績	P. 11
財政状態	P. 12
キャッシュフロー	P. 13
セグメント別実績	P. 14

3. 航空事業

収入・費用	P. 15
営業利益 増減要因	P. 16
ANA国際旅客	P. 17-20
ANA国内旅客	P. 21-22
ANA国際貨物	P. 23-25
ANA国内貨物	P. 26
Peach Aviation	P. 27-28
AirJapan	P. 29-30
ANA国際線 方面別実績 (構成比)	P. 31-32
燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANA)	P. 33
航空機数	P. 34

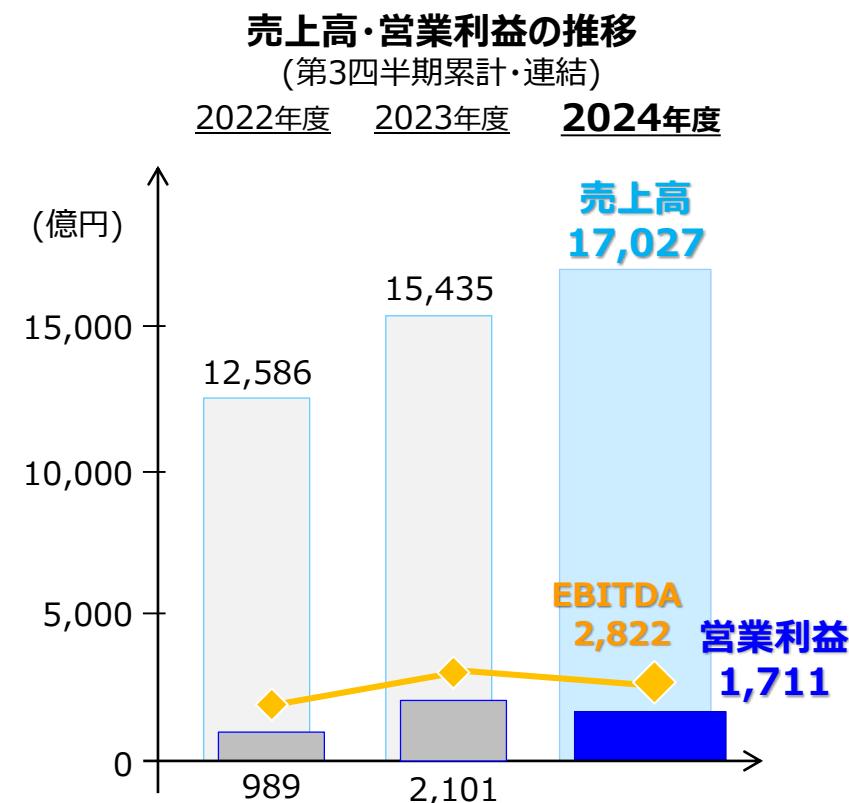
4. ノンエア事業

航空事業以外のセグメント	P. 35
--------------	-------

決算概要 (第3四半期累計)

2024年度 第3四半期決算 (4-12月、連結)

(億円)	実績	前年差	前年比
売上高	17,027	+1,592	+10.3%
航空事業	15,517	+1,435	+10.2%
営業費用	15,316	+1,981	+14.9%
航空事業	13,803	+1,757	+14.6%
営業利益	1,711	△389	△18.5%
航空事業	1,714	△321	△15.8%
営業利益率	10.1%	△3.6pt	-
経常利益	1,815	△255	△12.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,340	△149	△10.0%
EBITDA	2,822	△342	△10.8%



売上高 : 旅客・貨物ともに着実に需要を取り込み、前年から増加
 営業費用 : 円安の影響などにより、整備費を中心に前年から増加
 営業利益 : 2024年10月末に開示した通期の計画を超過

決算概要 (第3四半期)

2024年度 第3四半期 (10-12月のみ、連結)

(億円)	実績	前年差	前年比
売上高	6,031	+623	+11.5%
航空事業	5,506	+556	+11.2%
営業費用	5,404	+799	+17.4%
航空事業	4,885	+693	+16.5%
営業利益	627	△175	△21.9%
航空事業	621	△137	△18.1%
営業利益率	10.4%	△4.5pt	-
経常利益	692	△105	△13.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	532	△24	△4.5%
EBITDA	1,003	△159	△13.7%

前年差の概要

- 1) 売上高 : 四半期ベースで過去最高を更新
- 2) 営業費用 : 整備費や人件費が増加

計画差の概要

営業利益 +70億円

<主な売上・費用の計画差>

- ① 国際旅客 +100億円 欧米線好調
- ② 国内旅客 +115億円 レジャー好調
- ③ 貨物郵便 △25億円 重量未達
- ④ 整備費 +105億円 円安・整備機会増

営業利益は前年から減益も、計画を上回って進捗

事業別のポイント（第3四半期）



国際旅客

訪日・日本発を中心に生産量の増加ペースを上回る需要を獲得
イールドは前年から低下も、高い水準が継続

収入前年比(差)

+9%
(+182億円)

主な指標
(前年比)

旅客キロ +12%
イールド △2%

国内旅客

単価を前年並みに維持しながら、需要を最大限取り込み
座席利用率・ユニットレベニューは過去最高水準で推移

+9%
(+150億円)

L/F(実績) 77%
単価 △0%

国際貨物

中国発のEコマースや三国間需要が好調に推移
エアラインチャーターを活用し、北米向けの高単価貨物を獲得

+23%
(+102億円)

貨物重量 +6%
単価 +16%

peach

国際線・国内線ともに旅客数は前年からやや減少

△5%
(△18億円)

旅客数 △5%
単価 △0%

AIR JAPAN

販売競争力を強化し、座席利用率が大幅に改善

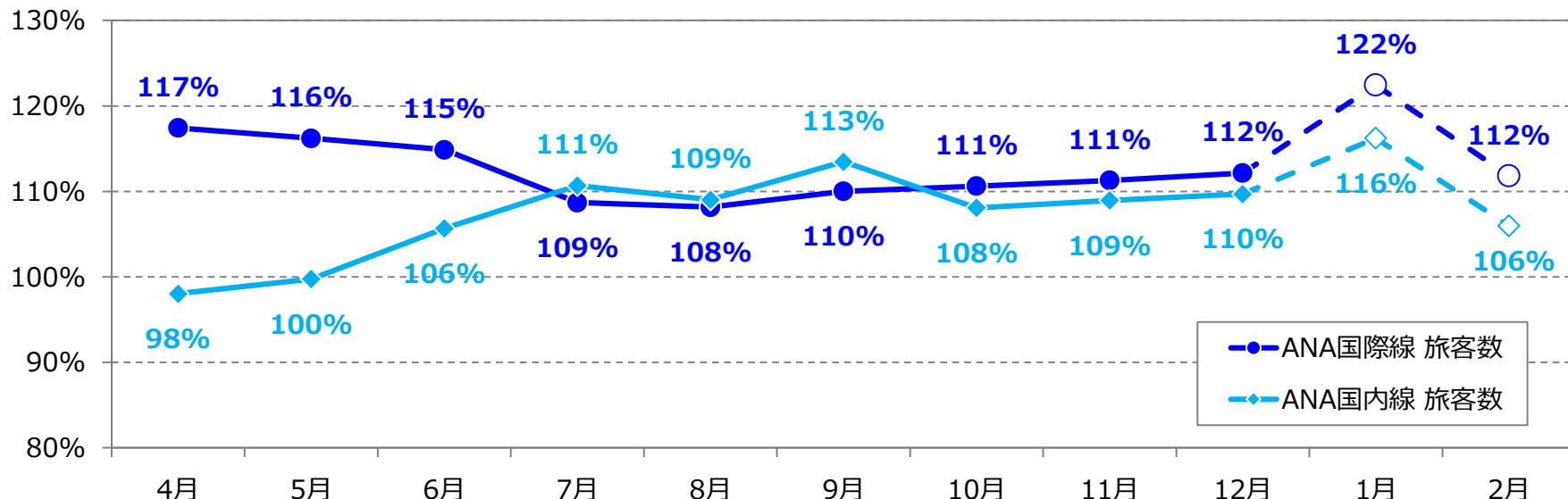
36億円
(実績)

L/F (実績)
82%

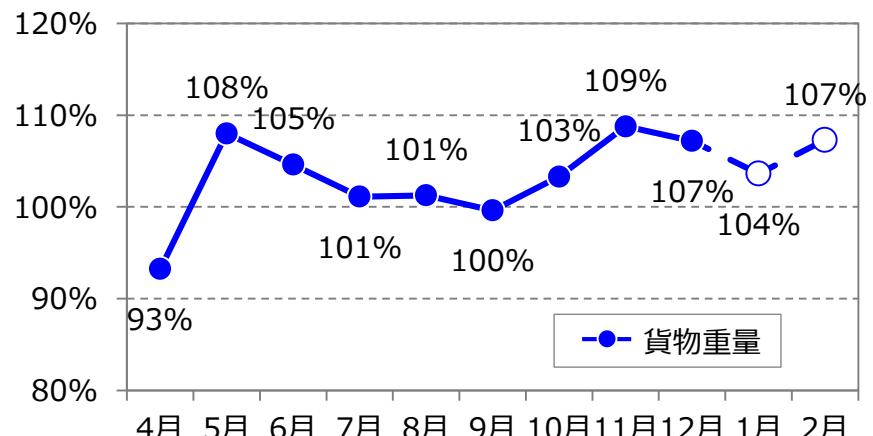
航空事業・事業別の需要動向（前年との比較）

1. ANA国際旅客・国内旅客

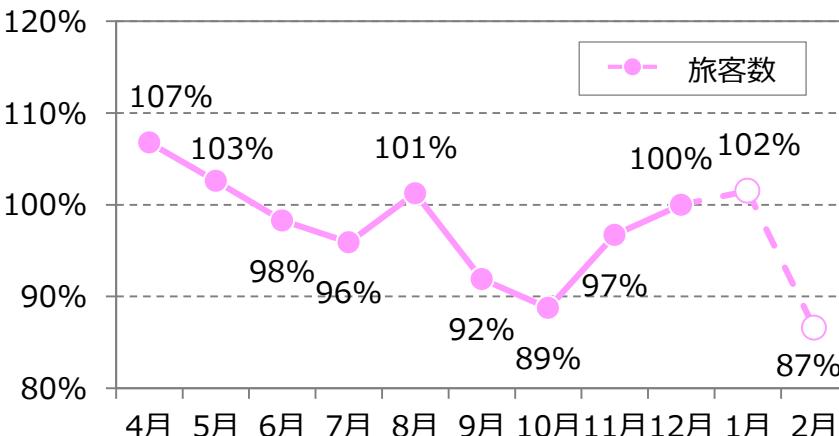
* グラフは全て前年比(月別)



2. ANA国際貨物



3. Peach (国際線・国内線合計)



通期業績予想（修正）

2024年度 通期業績予想の修正（連結）

(億円)	前回修正 (24.10.31)	今回修正 (25.2.3)	差異
売上高	22,200	22,550	+350
航空事業	20,150	20,500	+350
営業利益	1,700	1,800	+100
航空事業	1,710	1,800	+90
営業利益率	7.7%	8.0%	+0.3pt
経常利益	1,700	1,900	+200
親会社株主に帰属する当期純利益	1,200	1,400	+200
EBITDA	3,185	3,290	+105

修正のポイント

- 1) 売上高
国際線・国内線ともに旅客需要が堅調
- 2) 営業費用
円安影響、整備機会の増加など
- 3) 営業外収益
機材・エンジン関連の補償を受領

通期業績予想を上方修正
(第4四半期の見通しも反映)

市況	前回 (下期修正)	今回 (第4四半期)
為替レート (円/US\$)	145	155
ドバイ原油 (US\$/bbl)	80	75
シンガポールケロシン (US\$/bbl)	100	90

セグメント別 計画（修正）

	(億円)	FY2023	FY2024 今回修正予想	前年差	FY2024 前回修正予想*
売上高	航空事業	18,695	20,500	+ 1,804	20,150
	航空関連事業	2,988	3,270	+ 281	3,270
	旅行事業	785	760	△ 25	760
	商社事業	1,179	1,320	+ 140	1,320
	その他	412	450	+ 37	450
	調整額	△ 3,501	△ 3,750	△ 248	△ 3,750
	合計（連結）	20,559	22,550	+ 1,990	22,200
営業利益	航空事業	2,079	1,800	△ 279	1,710
	航空関連事業	67	45	△ 22	65
	旅行事業	13	0	△ 13	0
	商社事業	45	50	+ 4	50
	その他	5	15	+ 9	5
	調整額	△ 133	△ 110	+ 23	△ 130
	合計（連結）	2,079	1,800	△ 279	1,700

* 2024年10月31日開示の業績予想

航空事業 売上高・営業費用 計画（修正）

	(億円)	FY2023	FY2024 今回修正予想	前年差	FY2024 前回修正予想*
売上高	国際旅客	7,281	8,000	+ 718	7,800
	国内旅客	6,449	7,010	+ 560	6,820
	貨物郵便	1,857	2,180	+ 322	2,290
	その他	1,713	1,800	+ 86	1,720
Peach・AirJapan	1,393	1,510	+ 116	1,520	
	合計	18,695	20,500	+ 1,804	20,150
営業費用	燃油費・燃料税	3,913	4,190	+ 276	4,230
	燃油費・燃料税 以外	12,701	14,510	+ 1,808	14,210
	合計	16,615	18,700	+ 2,084	18,440
営業利益	営業利益	2,079	1,800	△ 279	1,710

* 2024年10月31日開示の業績予想

今後に向けて

1. 2025年度 ANAグループ航空輸送事業計画 (2025年1月21日リリース)



事業計画のポイント

座席キロ

(前年比)

(CY19比)

国際旅客	2024年度末のネットワーク・運航便数を維持 欧州新規路線の通年化などにより、生産量は前年から増加	106%	88%
国内旅客	機材の小型化により生産量は前年から減少 (B787型機の国際線配置、A320/321neo型機の稼働復帰)	98%	91%

※ Peachは国際線の拡大を検討中、AirJapanは2025年度中に3号機目を導入予定

2. 機材関連のアップデート

事象

直近の状況

PW1100Gエンジン (A320/321neo)	エンジン部品の点検・改修指示に対応	非稼働機数は徐々に減少 (FY24末 非稼働機数：計画13機 → 最新見通し11機)
Trent1000エンジン (B787)	部品交換のための取り卸しが増加	部品の供給不足により稼働機の逼迫が続く見込み
ボーイング新造機の 受領時期	当初、2025年度に11機を受領予定	一部機材の受領が2026年度となる見通し

事業規模のさらなる拡大に向けて、機材確保の調整を継続

経営成績

(億円)	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年差	FY2024 第3四半期	前年差
売上高	15,435	17,027	+ 1,592	6,031	+ 623
営業費用	13,334	15,316	+ 1,981	5,404	+ 799
営業利益	2,101	1,711	△ 389	627	△ 175
営業利益率 (%)	13.6	10.1	△ 3.6pt	10.4	△ 4.5pt
営業外損益	△ 29	104	+ 134	64	+ 69
経常利益	2,071	1,815	△ 255	692	△ 105
特別損益	△ 4	△ 32	△ 27	△ 34	△ 34
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,489	1,340	△ 149	532	△ 24
四半期純利益	1,498	1,347	△ 150	537	△ 24
その他包括利益	28	△ 58	△ 87	390	+ 877
包括利益	1,526	1,288	△ 238	927	+ 853

財政状態

(億円)	FY2023 期末	FY2024 第3四半期末	前年度 期末差
総資産	35,695	35,822	+ 127
自己資本	10,445	11,397	+ 952
自己資本比率 (%)	29.3	31.8	+ 2.6pt
有利子負債残高	14,840	13,595	△ 1,244
D/Eレシオ (倍)	1.4	1.2	△ 0.2
手元流動性資金 *1	12,578	12,214	△ 363
純有利子負債残高 *2	2,262	1,380	△ 881
ネットD/Eレシオ (倍) *3	0.2	0.1	△ 0.1

*1 手元流動性資金 = 現金及び預金 + 有価証券

*2 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - 手元流動性資金

*3 ネットD/Eレシオ = 純有利子負債÷自己資本

キャッシュフロー

(億円)	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年差
営業キャッシュフロー	3,229	2,631	△ 597
投資キャッシュフロー	△ 3,513	△ 4,330	△ 817
財務キャッシュフロー	△ 891	△ 1,585	△ 694
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,154	△ 3,254	△ 2,100
現金及び現金同等物の期首残高	11,134	10,025	△ 3,254
現金及び現金同等物の期末残高	9,980	6,770	
減価償却費	1,063	1,110	+ 46
設備投資額（固定資産のみ）	1,496	1,557	+ 61
実質フリー・キャッシュフロー (3ヶ月超の譲渡性預金等を除く)	2,023	1,192	△ 831
EBITDA（営業利益 + 減価償却費）	3,164	2,822	△ 342
EBITDAマージン（%）	20.5	16.6	△ 3.9pt

セグメント別実績

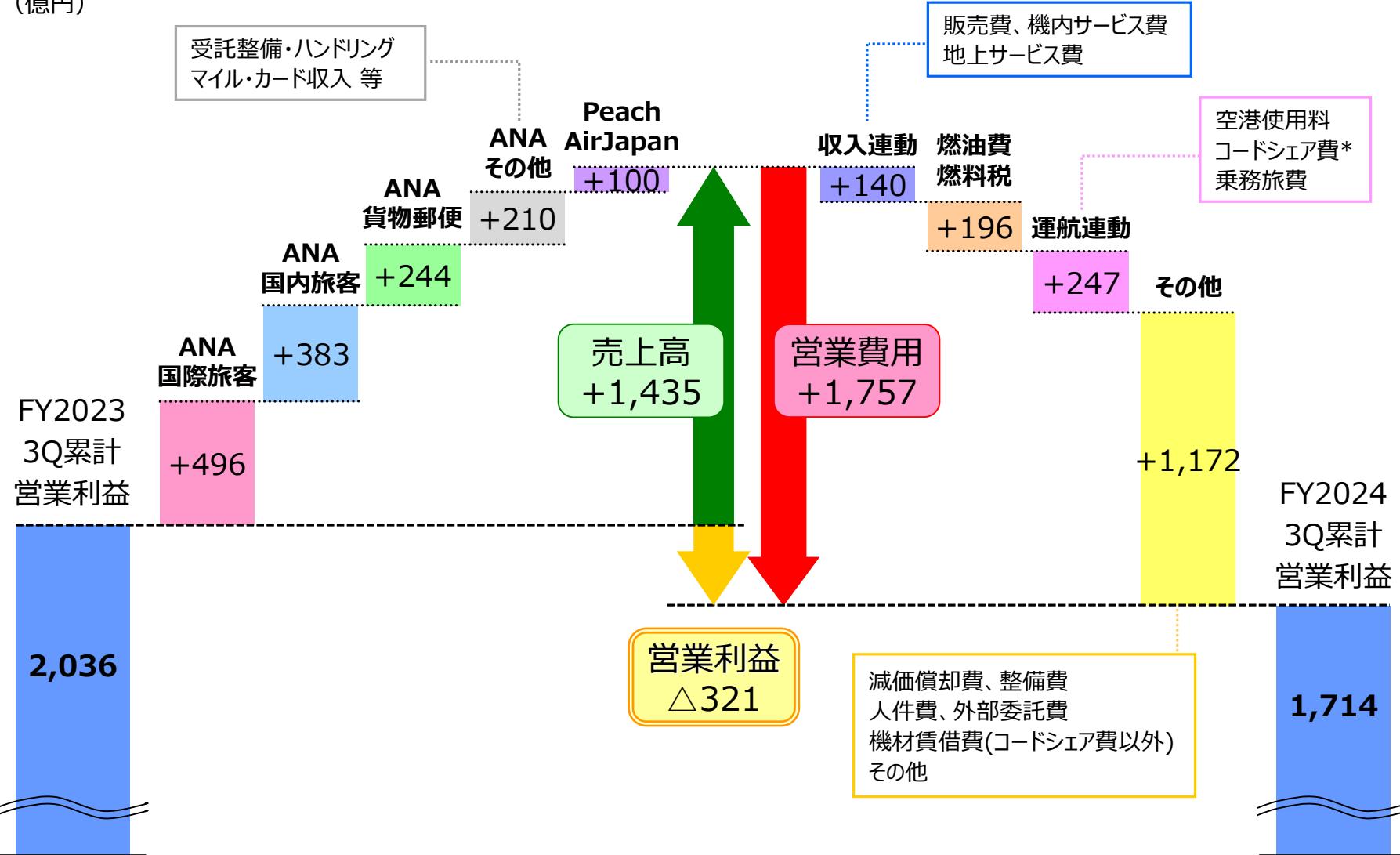
	(億円)	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年差	FY2024 第3四半期	前年差
売上高	航空事業	14,081	15,517	+ 1,435	5,506	+ 556
	航空関連事業	2,092	2,432	+ 340	858	+ 131
	旅行事業	592	549	△ 42	183	△ 13
	商社事業	867	975	+ 108	333	+ 39
	その他	287	321	+ 33	112	+ 12
	調整額	△ 2,485	△ 2,767	△ 282	△ 963	△ 103
	合計 (連結)	15,435	17,027	+ 1,592	6,031	+ 623
営業利益	航空事業	2,036	1,714	△ 321	621	△ 137
	航空関連事業	96	37	△ 58	7	△ 45
	旅行事業	13	△ 1	△ 14	5	+ 2
	商社事業	42	39	△ 3	12	△ 3
	その他	7	10	+ 3	5	△ 1
	調整額	△ 94	△ 89	+ 5	△ 23	+ 9
	合計 (連結)	2,101	1,711	△ 389	627	△ 175

収入・費用

(億円)	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年差	FY2024 第3四半期	前年差	
売上高	国際旅客	5,515	6,012	+ 496	2,111	+ 182
	国内旅客	4,965	5,349	+ 383	1,887	+ 150
	貨物郵便	1,421	1,665	+ 244	628	+ 101
	その他	1,168	1,378	+ 210	523	+ 102
	Peach・AirJapan	1,010	1,110	+ 100	355	+ 18
営業費用	合計	14,081	15,517	+ 1,435	5,506	+ 556
	燃油費・燃料税	2,902	3,098	+ 196	1,037	+ 12
	空港使用料	641	817	+ 175	282	+ 59
	航空機材賃借費	1,122	1,139	+ 16	395	+ 17
	減価償却費	1,021	1,065	+ 43	359	+ 14
	整備部品・外注費	1,221	1,769	+ 548	739	+ 296
	人件費	1,502	1,720	+ 218	608	+ 97
	販売費	406	457	+ 50	155	+ 18
	外部委託費	1,863	2,158	+ 294	762	+ 111
	その他	1,362	1,577	+ 214	543	+ 65
営業利益	合計	12,045	13,803	+ 1,757	4,885	+ 693
	営業利益	2,036	1,714	△ 321	621	△ 137
	EBITDA (営業利益+減価償却費)	3,058	2,779	△ 278	980	△ 122
	EBITDAマージン (%)	21.7	17.9	△ 3.8pt	17.8	△ 4.5pt

営業利益 増減要因

(億円)



* 貨物エアラインチャーター費用を含む

ANA国際旅客

	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年比(%)	FY2024 第3四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	39,512	43,051	+ 9.0	14,780	+ 8.6
旅客キロ (百万)	30,844	33,796	+ 9.6	11,764	+ 11.9
旅客数 (千人)	5,310	5,946	+ 12.0	2,047	+ 11.3
座席利用率 (%)	78.1	78.5	+0.4pt*1	79.6	+2.3pt*1
旅客収入 (億円)	5,515	6,012	+ 9.0	2,111	+ 9.4
ユニットレベニュー (円) (旅客収入／座席キロ)	14.0	14.0	+ 0.0	14.3	+ 0.8
イールド (円) (旅客収入／旅客キロ)	17.9	17.8	△ 0.5	17.9	△ 2.2
単価 (円) (旅客収入／旅客数)	103,864	101,116	△ 2.6	103,111	△ 1.7

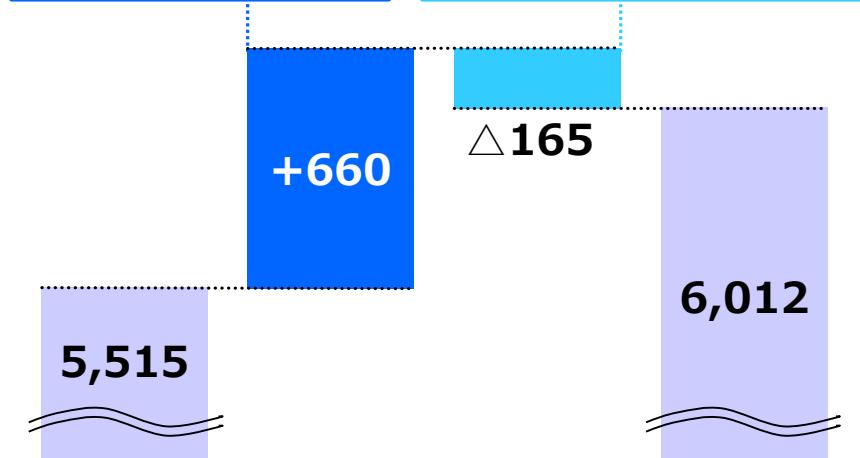
*1 座席利用率のみ前年差

ANA国際旅客（事業動向）

第3四半期累計 収入増減要因（前年差）

旅客数要因	
生産量	+375 (+130)
需要動向	+285 (+90)

単価要因	
路線構成変化等	△145 (-)
需給緩和	△285 (△115)
為替・FSC	+265 (+75)



FY23 3Q累計

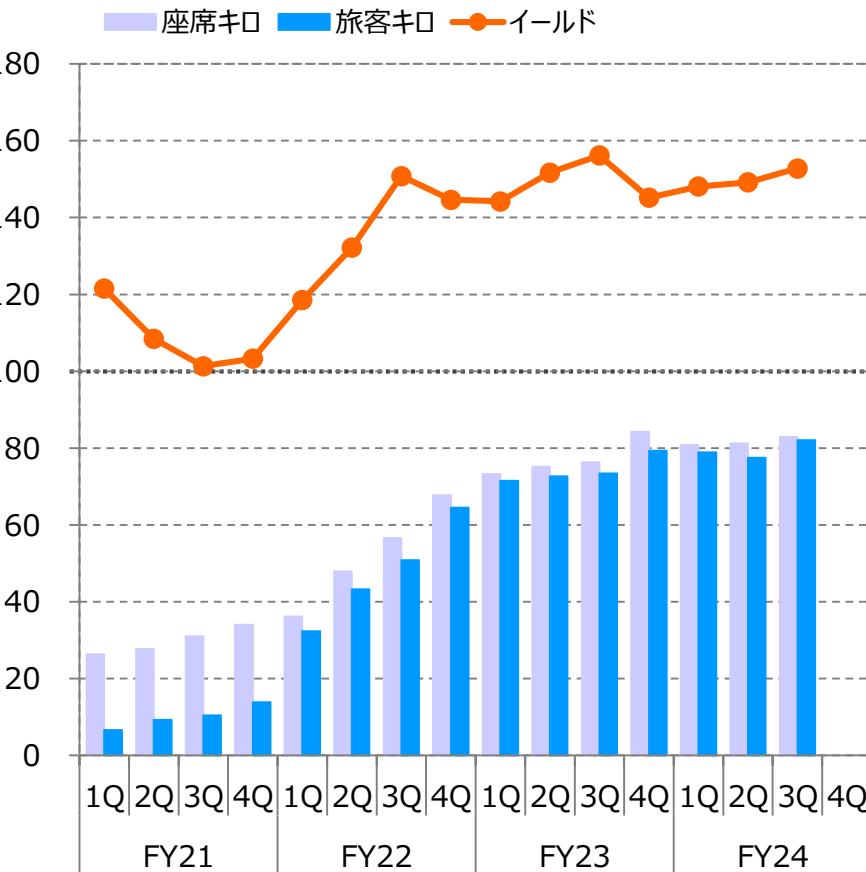
(カッコ内は第3四半期のみの実績値)

FY24 3Q累計

(億円)

四半期別 実績推移

指数：コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100

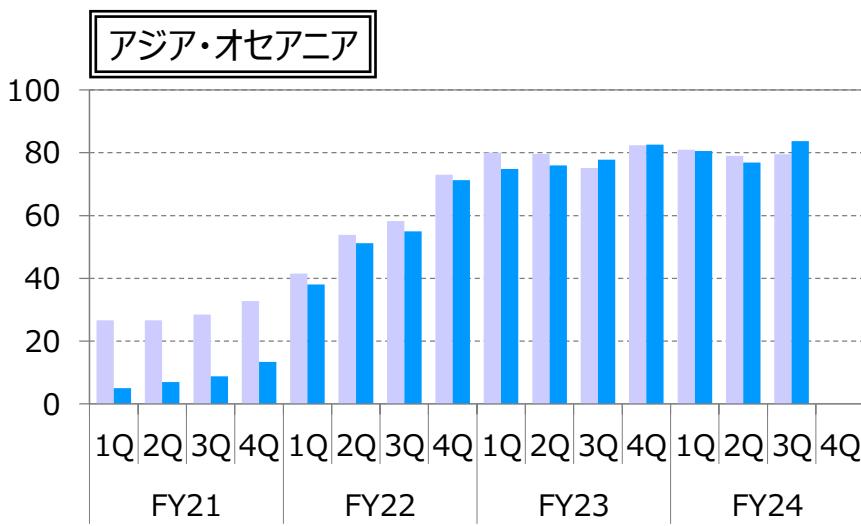
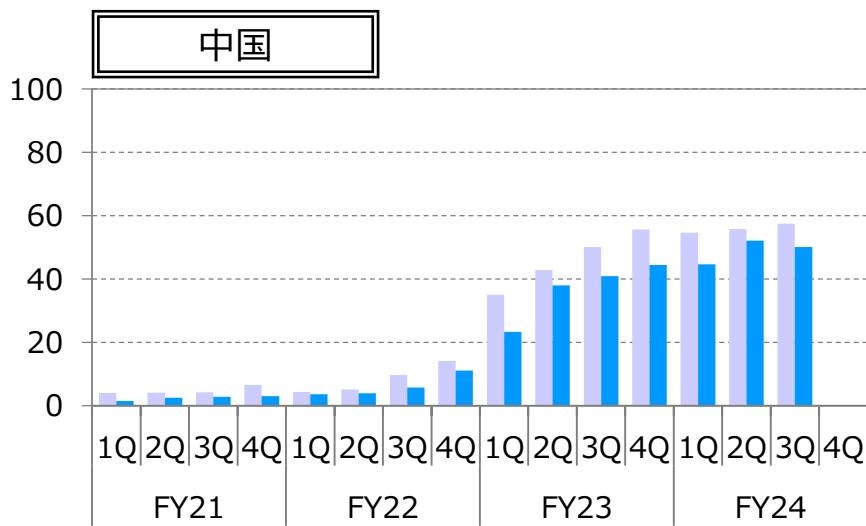
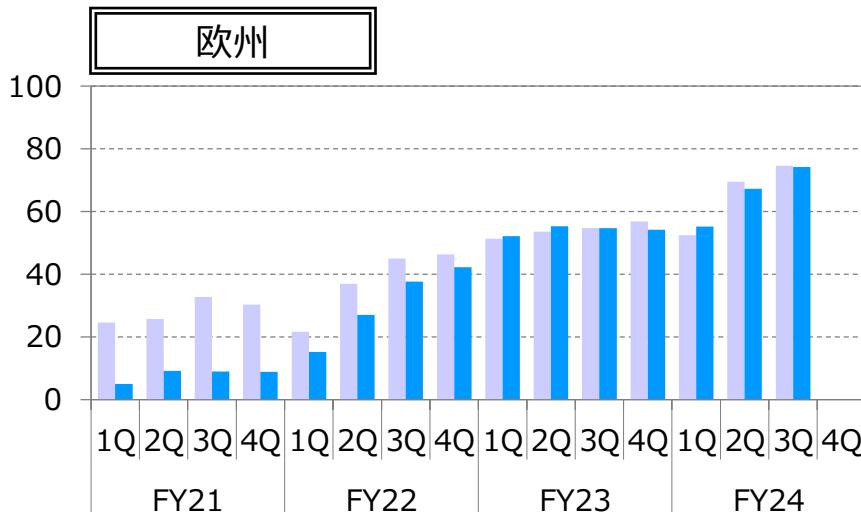
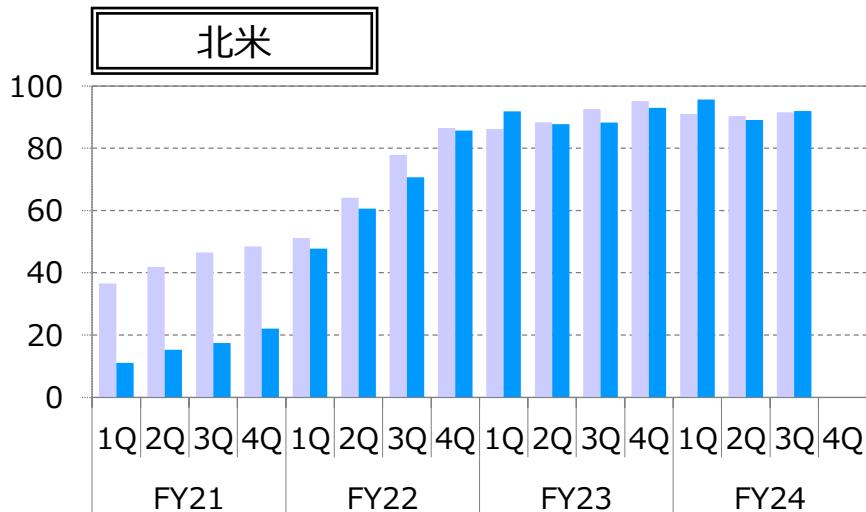


* 2019年の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

ANA国際旅客（四半期別・方面別 推移）

指数：コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100

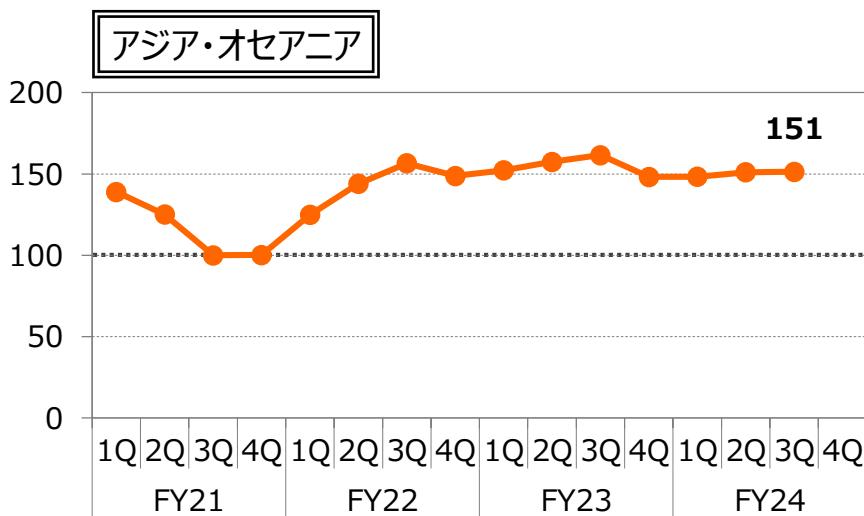
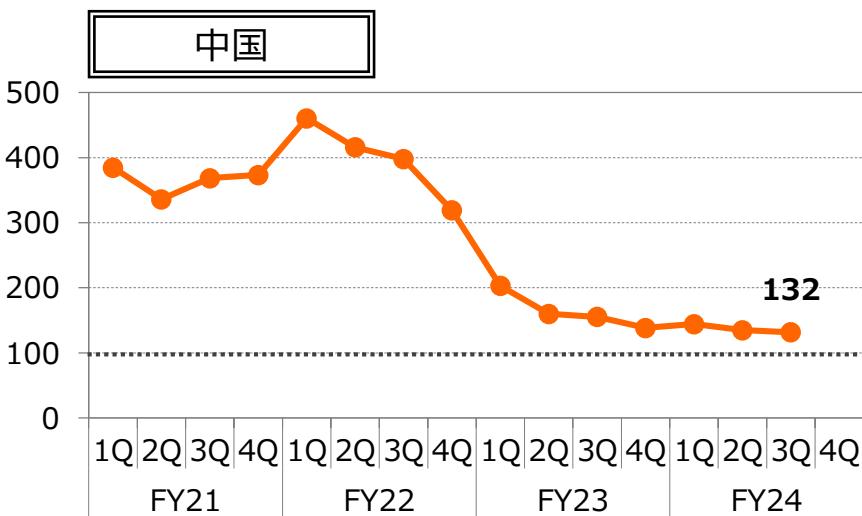
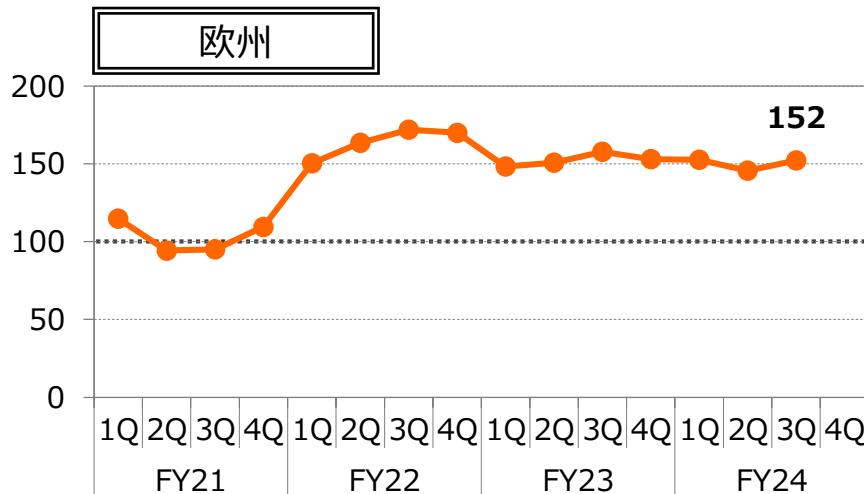
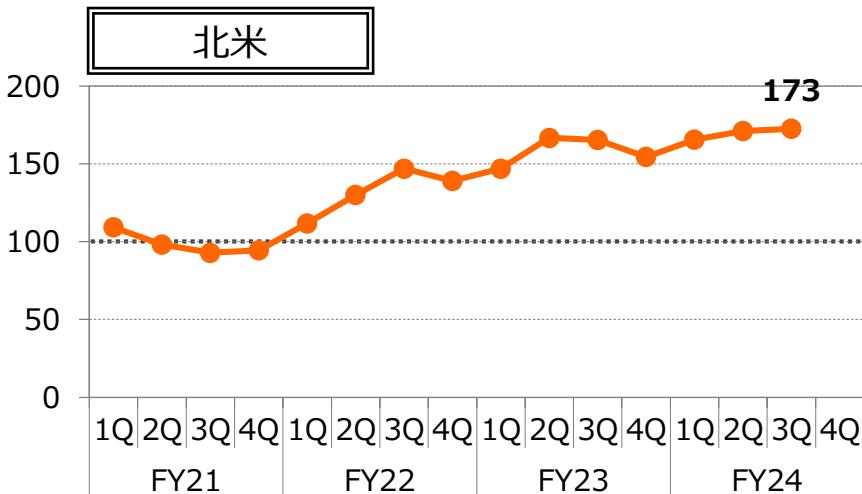
■：座席キロ ■：旅客キロ



* 2019年の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

ANA国際旅客（方面別 イールド推移）

指数：コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100



* 2019年の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

ANA国内旅客

	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年比(%)	FY2024 第3四半期	前年比(%)
座席キロ (百万) *1	34,963	35,421	+ 1.3	12,035	+ 3.5
旅客キロ (百万) *1	24,622	26,609	+ 8.1	9,262	+ 10.0
旅客数 (千人)	31,091	33,324	+ 7.2	11,645	+ 8.9
座席利用率 (%) *1	70.4	75.1	+4.7pt*2	77.0	+4.5pt*2
旅客収入 (億円)	4,965	5,349	+ 7.7	1,887	+ 8.7
ユニットレベニュー (円) *1 (旅客収入/座席キロ)	14.2	15.1	+ 6.3	15.7	+ 5.0
イールド (円) *1 (旅客収入/旅客キロ)	20.2	20.1	△ 0.3	20.4	△ 1.2
単価 (円) (旅客収入/旅客数)	15,972	16,053	+ 0.5	16,207	△ 0.2

*1 当年度より国内線の区間距離の定義を大圏距離に変更 (前年実績にも変更を反映)

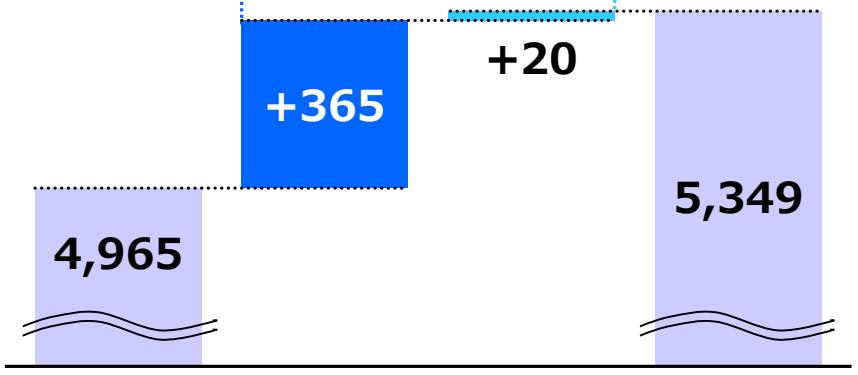
*2 座席利用率のみ前年差

ANA国内旅客（事業動向）

第3四半期累計 収入増減要因（前年差）

旅客数要因	
営業施策	+380 (+160)
その他	△15 (△5)

単価要因	
運賃政策	+170 (+70)
客体構成変化	△150 (△70)



FY23 3Q累計

(カッコ内は第3四半期のみの実績値)

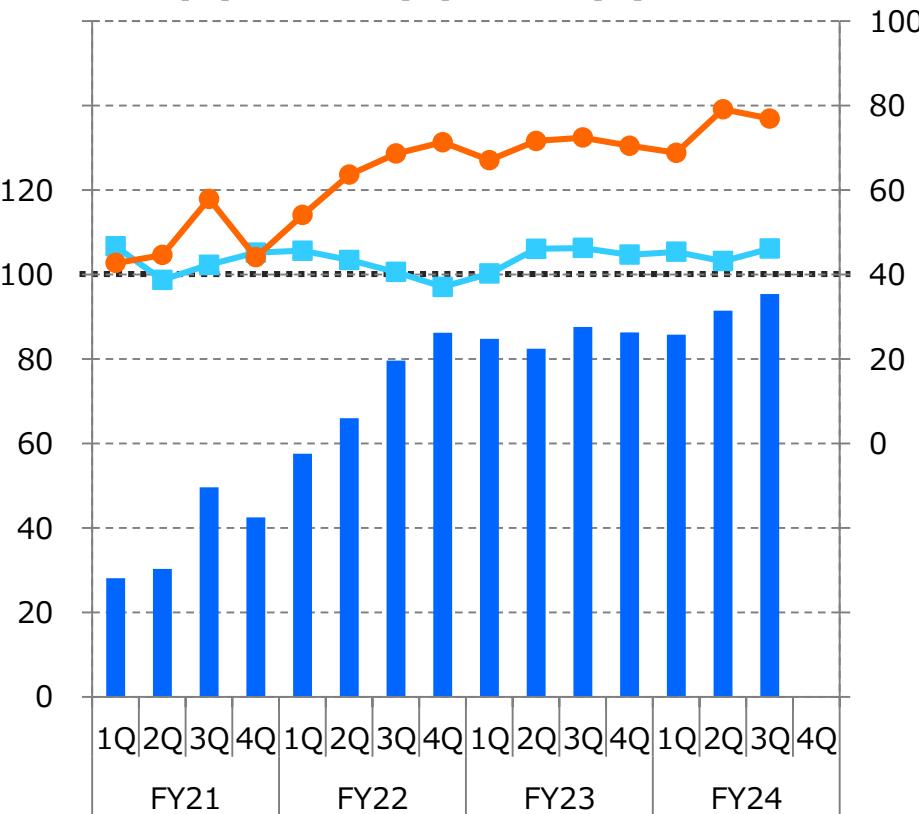
FY24 3Q累計

(億円)

四半期別 実績推移

[左] 指数 (コロナ前 (2019年1~12月) 各四半期実績=100)
 [右] 実績 (%)

[左] 旅客数 [左] 単価 [右] 座席利用率



* 2019年の実績は、新収益認識基準に置き換えて算定

* 座席利用率は区間距離の定義を大圏距離に置き換えて算定

ANA国際貨物（ベリー+フレイター）

	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年比(%)	FY2024 第3四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	4,768	4,843	+ 1.6	1,678	+ 4.4
有償貨物トンキロ（百万）	2,620	2,715	+ 3.6	945	+ 6.6
貨物輸送重量（千トン）	517	532	+ 2.9	184	+ 6.4
貨物重量利用率（%）	55.0	56.1	+1.1pt*1	56.3	+1.2pt*1
貨物収入（億円）	1,191	1,432	+ 20.3	544	+ 23.0
ユニットレベニュー（円） (貨物収入／有効貨物トンキロ)	25.0	29.6	+ 18.4	32.5	+ 17.9
イールド（円） (貨物収入／有償貨物トンキロ)	45.4	52.8	+ 16.1	57.7	+ 15.4
重量単価（円/kg） (貨物収入／貨物輸送重量)	230	269	+ 16.9	295	+ 15.7

*1 貨物重量利用率のみ前年差

ANA国際貨物 (フレイターのみ)

本表のデータは、P.23記載実績の内数

	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年比(%)	FY2024 第3四半期	前年比(%)
--	-------------------	-------------------	--------	-----------------	--------

有効貨物トンキロ (百万)	1,368	1,324	△ 3.2	476	△ 0.5
有償貨物トンキロ (百万)	880	868	△ 1.4	314	+ 0.7
貨物輸送重量 (千トン)	220	210	△ 4.2	73	△ 2.0
貨物重量利用率 (%)	64.4	65.6	+1.2pt*1	66.0	+0.8pt*1
貨物収入 (億円)	476	553	+ 16.2	220	+ 20.1
ユニットレベニュー (円) (貨物収入／有効貨物トンキロ)	34.8	41.8	+ 20.1	46.3	+ 20.8
イールド (円) (貨物収入／有償貨物トンキロ)	54.0	63.7	+ 17.9	70.2	+ 19.3
重量単価 (円/kg) (貨物収入／貨物輸送重量)	216	262	+ 21.3	299	+ 22.6

*1 貨物重量利用率のみ前年差

ANA国際貨物（事業動向）

第3四半期累計 収入増減要因（前年差）

重量要因	
生産量	+10 (+15)
需要動向	+25 (+10)

単価要因	
為替	+65 (+5)
販売レート・FSC	+170 (+80)
貨物構成変化等	△30 (△10)

+35

+205

1,191

1,432

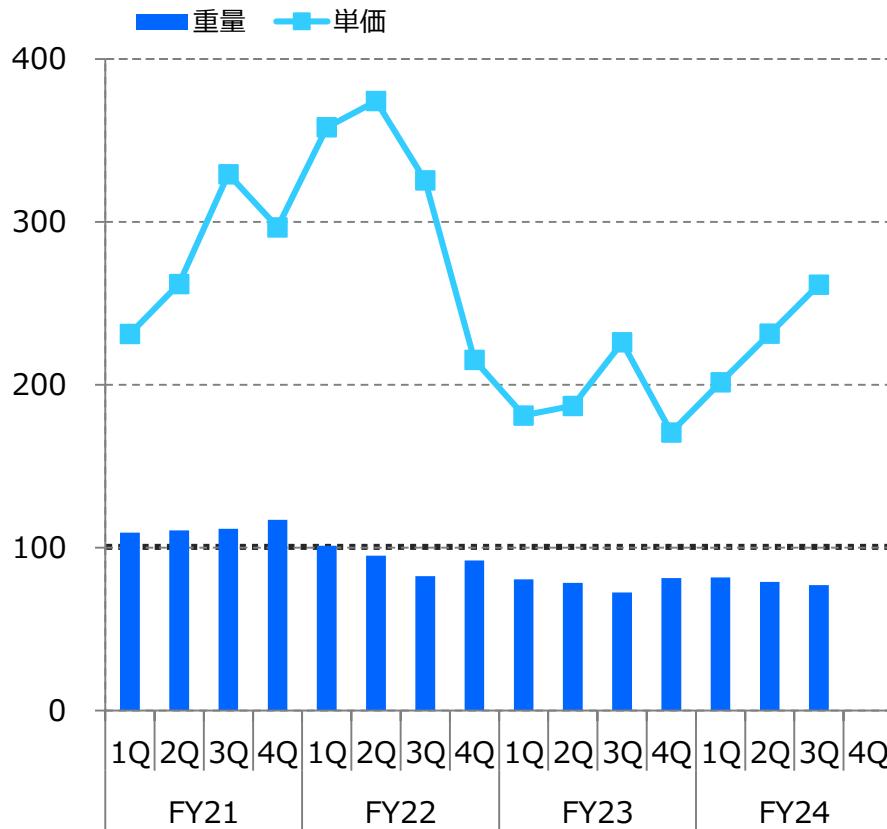
FY23 3Q累計

(カッコ内は第3四半期のみの実績値)

(億円)

四半期別 実績推移

指数：コロナ前（2019年1～12月）各四半期実績=100



ANA国内貨物

	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年比(%)	FY2024 第3四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）*1	1,089	1,173	+ 7.7	392	+ 9.1
有償貨物トンキロ（百万）*1	189	202	+ 6.7	73	+ 6.8
貨物輸送重量（千トン）	193	209	+ 8.5	77	+ 8.1
貨物重量利用率（%）*1	17.4	17.3	△0.2pt*2	18.7	△0.4pt*2
貨物収入（億円）	172	175	+ 2.0	63	+ 1.0
ユニットレベニュー（円）*1 (貨物収入／有効貨物トンキロ)	15.8	15.0	△ 5.3	16.2	△ 7.4
イールド（円）*1 (貨物収入／有償貨物トンキロ)	90.6	86.6	△ 4.4	86.4	△ 5.4
重量単価（円/kg） (貨物収入／貨物輸送重量)	89	84	△ 6.0	82	△ 6.5

*1 当年度より国内線の区間距離の定義を大圏距離に変更（前年実績にも変更を反映）

*2 貨物重量利用率のみ前年差

Peach Aviation

(国内線・国際線合計)	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年比(%)	FY2024 第3四半期	前年比(%)
座席キロ (百万) *1	9,169	9,421	+ 2.7	3,187	+ 1.6
旅客キロ (百万) *1	7,892	7,996	+ 1.3	2,616	△ 2.7
旅客数 (千人)	7,042	6,880	△ 2.3	2,238	△ 5.2
座席利用率 (%) *1	86.1	84.9	△1.2pt*2	82.1	△3.7pt*2
売上高 (億円) *3	1,010	1,031	+ 2.1	318	△ 5.4
ユニットレベニュー (円) *1 (売上高/座席キロ)	11.0	10.9	△ 0.6	10.0	△ 6.9
イールド (円) *1 (売上高/旅客キロ)	12.8	12.9	+ 0.8	12.2	△ 2.8
単価 (円) (売上高/旅客数)	14,345	14,992	+ 4.5	14,232	△ 0.3

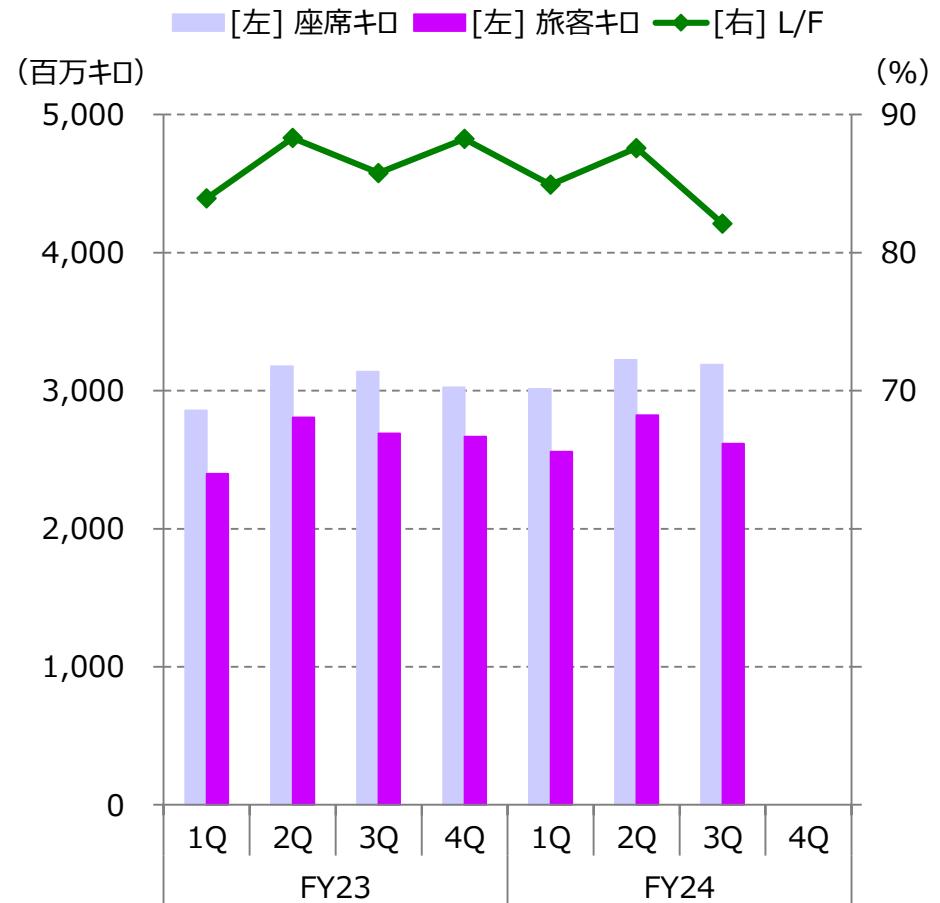
*1 当年度より国内線の区間距離の定義を大圏距離に変更 (前年実績にも変更を反映)

*2 座席利用率のみ前年差

*3 売上高に付帯収入を含む

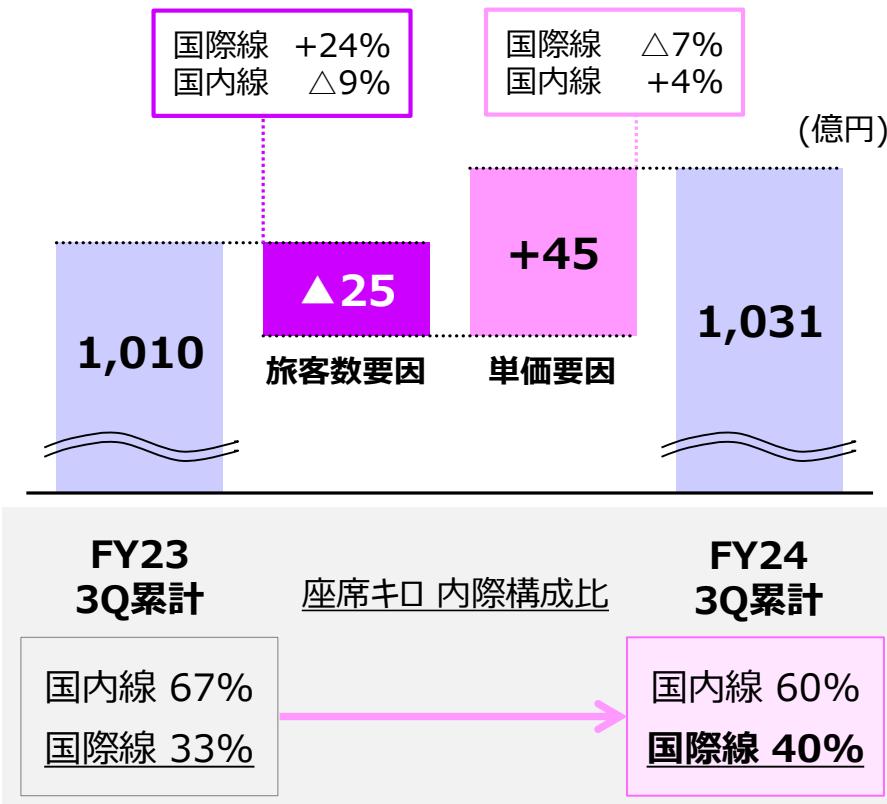
Peach Aviation (事業動向)

四半期別 実績推移 (内際計)



第3四半期累計の概況

国際線のリソース配分を高め収入を最大化



* 当年度より国内線の区間距離の定義を大圏距離に変更（前年実績にも変更を反映）

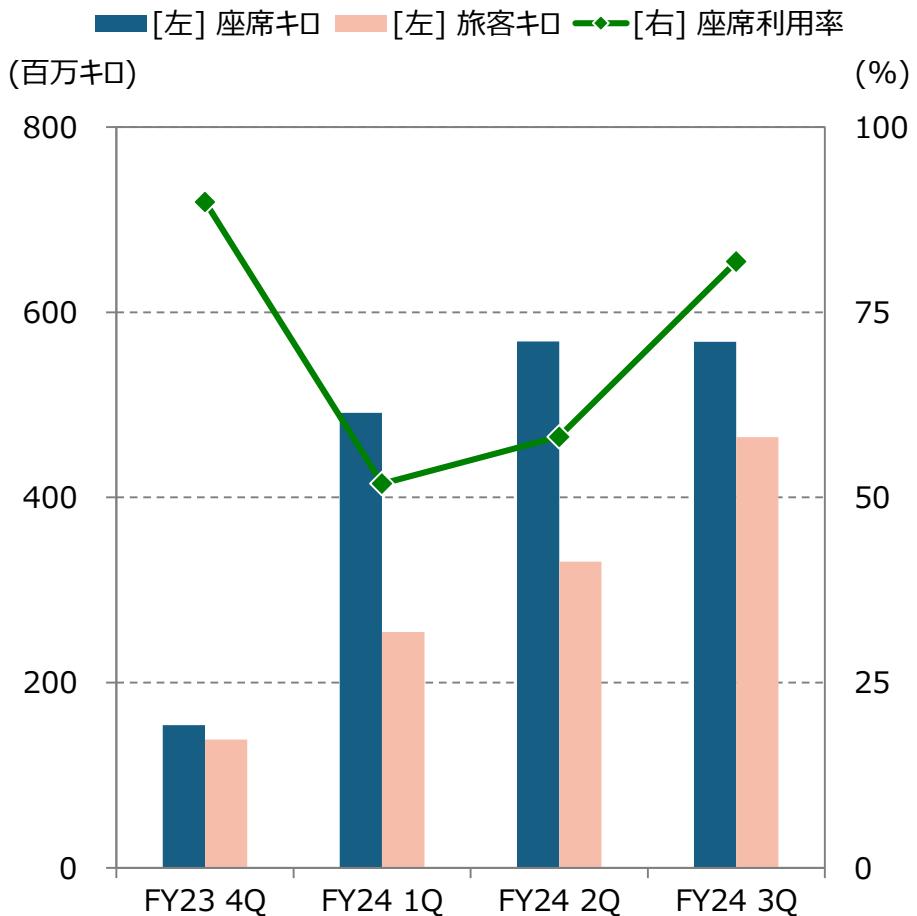
AirJapan

	FY2024 第3四半期累計	FY2024 第3四半期
座席キロ (百万)	1,627	568
旅客キロ (百万)	1,050	464
旅客数 (千人)	296	126
座席利用率 (%)	64.5	81.8
売上高 (億円) *1	79	36
ユニットレベニュー (円) (売上高/座席キロ)	4.9	6.5
イールド (円) (売上高/旅客キロ)	7.5	7.9
単価 (円) (売上高/旅客数)	26,693	29,169

*1 売上高に付帯収入を含む

AirJapan (事業動向)

四半期別 実績推移



第3四半期(10~12月)の概況

1Q

運航品質を安定化

2Q

ブランド認知度を向上

3Q

販売競争力を強化

- ✓ 運賃改定などにより、幅広い客層へアプローチ
高需要期を迎えたアジア発訪日需要を取り込み
- ✓ 座席利用率は大幅に改善
1Q 51.9% → 2Q 58.2% → 3Q 81.8%

ANA国際旅客 方面別実績（構成比）

* CY19は新収益認識基準に置き換えて算定	FY2024 3Q累計 構成比	FY2024 3Q累計 構成比		FY2024 3Q 構成比		
		前年同期差	CY19同期差	前年同期差	CY19同期差	
旅客収入	北米	39.0	+ 0.3	+ 9.3	36.5	△ 0.3
	欧州	16.6	+ 1.4	△ 3.5	17.6	+ 2.9
	中国	7.6	+ 0.6	△ 5.9	6.1	△ 0.3
	アジア・オセアニア	30.6	△ 2.5	+ 0.5	33.6	△ 2.9
	ハワイ	6.3	+ 0.2	△ 0.3	6.3	+ 0.6
座席キロ	北米	35.3	△ 2.3	+ 3.6	34.2	△ 3.3
	欧州	13.5	+ 1.5	△ 3.4	14.7	+ 3.0
	中国	6.4	+ 1.1	△ 3.0	6.3	+ 0.3
	アジア・オセアニア	34.8	△ 2.3	△ 0.8	35.1	△ 0.9
	ハワイ	10.0	+ 2.1	+ 3.5	9.7	+ 0.9
旅客キロ	北米	37.2	△ 2.3	+ 5.1	34.5	△ 2.6
	欧州	14.2	+ 1.4	△ 3.0	15.2	+ 2.7
	中国	5.5	+ 1.4	△ 3.4	4.8	+ 0.4
	アジア・オセアニア	34.8	△ 1.3	+ 0.4	37.2	△ 1.5
	ハワイ	8.3	+ 0.9	+ 0.9	8.3	+ 0.9

ANA国際貨物 方面別実績（構成比）

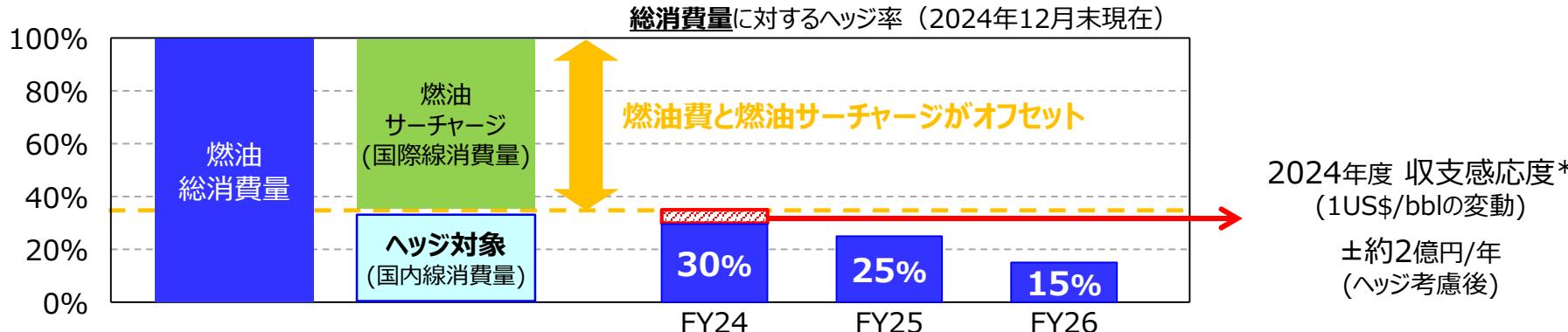
* CY19は新収益認識基準に置き換えて算定	FY2024 3Q累計 構成比	FY2024 3Q累計 構成比		FY2024 3Q 構成比		
		前年同期差	CY19同期差	前年同期差	CY19同期差	
貨物収入	北米（ハワイを含む）	51.5	+ 8.6	+ 16.0	54.2	+ 6.6
	欧州	8.1	△ 1.0	△ 7.1	8.2	△ 0.2
	中国	19.8	△ 3.4	△ 2.5	18.4	△ 3.5
	アジア・オセアニア	19.1	△ 4.1	△ 4.3	17.9	△ 2.7
	その他	1.5	△ 0.1	△ 2.1	1.3	△ 0.2
有効貨物 トンキロ	北米（ハワイを含む）	49.8	+ 1.7	+ 6.4	49.9	+ 0.1
	欧州	7.8	+ 1.4	△ 5.5	8.6	+ 2.5
	中国	14.6	+ 0.6	+ 0.9	14.3	+ 0.7
	アジア・オセアニア	27.4	△ 3.7	△ 0.3	26.7	△ 3.3
	その他	0.4	+ 0.0	△ 1.4	0.4	△ 0.0
有償貨物 トンキロ	北米（ハワイを含む）	50.8	△ 0.5	+ 8.7	50.1	△ 2.2
	欧州	10.1	+ 0.3	△ 7.9	11.3	+ 2.1
	中国	13.8	△ 0.2	+ 0.6	13.8	△ 0.0
	アジア・オセアニア	24.5	+ 0.4	△ 0.2	24.1	+ 0.2
	その他	0.7	△ 0.0	△ 1.3	0.7	△ 0.0

燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANA)

1. 燃油ヘッジ 基本方針

- 1) 国内線消費量を対象にヘッジ（3年前から取引開始）
- 2) 国際線消費量は原則としてヘッジ対象外（燃油サーチャージで対応）

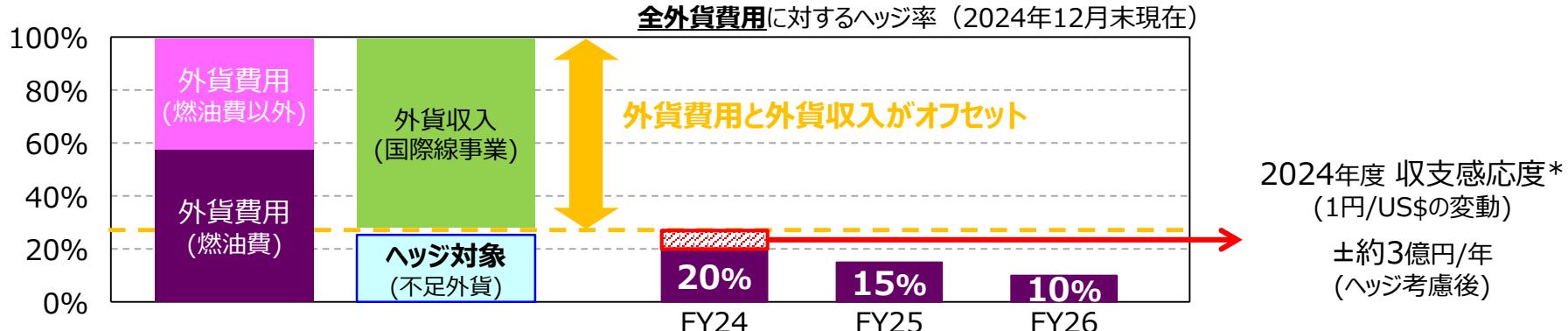
	(US\$/bbl)	FY24 3Q累計実績	FY24 4Q前提
ドバイ原油	80.3	75	
シンガポールケロシン	94.4	90	



2. 為替ヘッジ 基本方針

- 1) 不足する外貨量を対象にヘッジ（3年前から取引開始）

	(円/US\$)	FY24 3Q累計実績	FY24 4Q前提
ドル円レート	152.3	155	



* 2024年度業績予想(4/26開示)の前提となる事業計画および燃油・為替市況に基づく感応度

航空機数

	FY2023 期末	FY2024 第3四半期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数
Airbus A380-800	3	3	-	3	-
Boeing 777-300/-300ER	18	18	-	9	9
Boeing 777-200/-200ER	10	10	-	10	-
Boeing 777-F	2	2	-	2	-
Boeing 787-10	5	7	+ 2	6	1
Boeing 787-9	43	44	+ 1	38	6
Boeing 787-8	35	34	△ 1	31	3
Boeing 767-300/-300ER	15	15	-	15	-
Boeing 767-300F/-300BCF	9	6	△ 3	3	3
Airbus A321-200neo	22	22	-	-	22
Airbus A321-200	4	4	-	-	4
Airbus A320-200neo	11	11	-	11	-
Boeing 737-800	39	39	-	26	13
De Havilland Canada DASH 8-400	24	24	-	24	-
ANA 計	240	239	△ 1	178	61
Airbus A321-200neoLR	3	3	-	-	3
Airbus A320-200neo	15	17	+ 2	-	17
Airbus A320-200	19	16	△ 3	-	16
Peach Aviation 計	37	36	△ 1	-	36
Boeing 787-8	1	2	+ 1	2	-
AirJapan 計	1	2	+ 1	2	-
グループ計	278	277	△ 1	180	97

航空事業以外のセグメント

(億円)	航空関連事業			旅行事業		
	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年差	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年差
売上高	2,092	2,432	+ 340	592	549	△ 42
営業利益	96	37	△ 58	13	△ 1	△ 14
減価償却費	30	30	+ 0	3	6	+ 2
EBITDA (営業利益+減価償却費)	126	68	△ 58	16	4	△ 12
EBITDAマージン(%)	6.1	2.8	△ 3.3pt	2.8	0.8	△ 2.0pt

	商社事業			その他		
	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年差	FY2023 第3四半期累計	FY2024 第3四半期累計	前年差
売上高	867	975	+ 108	287	321	+ 33
営業利益	42	39	△ 3	7	10	+ 3
減価償却費	7	7	+ 0	1	1	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	49	46	△ 3	8	12	+ 4
EBITDAマージン(%)	5.7	4.8	△ 1.0pt	2.9	3.9	+ 1.0pt

(Memo)



(Memo)



(Memo)



グループ経営理念

安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めていきます
私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ワクワクで満たされる世界を

私たちは、空からはじまる多様なつながりを創り、
社員・お客様・社会の可能性を広げていきます。

グループ行動指針
(ANA's Way)

私たちは「あんしん、あつたか、あかるく元気！」に、次のように行動します。

1. 安全 (Safety)

安全こそ経営の基盤、守り続けます。

2. お客様視点 (Customer Orientation)

常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。

3. 社会への責任 (Social Responsibility)

誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。

4. チームスピリット (Team Spirit)

多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。

5. 努力と挑戦 (Endeavor)

グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関する見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、感染症の継続・拡大、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・I R部
Eメール : ir@anahd.co.jp